

令和6年度

# 山形観光アカデミー会報

Yamagata Academy for Tourism Services

## 新年度所感



学長  
本保芳明

皆さまご案内の通り、当アカデミーの理事長が内藤文徳氏から山口敦史氏に交代となりました。

内藤前理事長におかれては、長年にわたって当アカデミーを全力で牽引され、山形県の観光人材の育成強化を強力に推進されて来られました。山形県の観光界に対するその貢献は、誠に大なるものがあり、心から敬意と感謝の意を表するとともに、引き続いての大所高所からのご指導をお願い申し上げる次第です。山口新理事長におかれては、つとに新進気鋭の若手経営者として名を馳せられ、公的にも県内外で重責を担ってこられました。この度、内藤前理事長からバトンを渡され、当アカデミーの機関車役を務めて下さることになりました。心から歓迎するとともに、今後の一層のご活躍を期待しております。

新体制の発足を機会に改めて山形県の観光人材の育成について考えてみました。観光産業は、極論すれば人材が全てであり、その育成強化は、最終的には個別企業の責務であり、その成否が企業競争力を決定するとの考えには少しも変わりはありません。他方で、その企業としての取組をより効果的で、充実したものにするためには、各種の社会制度の有効活用も極めて重要です。働き方改革、外国人労働者を巡る制度改正、観光庁等の人材育成策への取組等の近年の「ヒト」関連の制度、取組の充実を見ると、その感を一層強くするところです。このような各種制度の活用促進、或いは、制度の充実により、企業における観光人材育成を支援するという観点から、当アカデミーとしても、更なる貢献策を考える必要があるのではないかと考えております。当アカデミーの予算規模はお世辞にも大きなものとは言えませんが、山形観光を代表する方々が役員に名を連ね、職員も優秀でやる気十分です。この人的資源、ネットワークを山口新理事長の下で、フルに活用すれば、山形観光人材の育成強化のために新しい面白いことが何かできるはずだと思っております。

今年度は、この思いの実現に向けて、皆様と議論をし、一步を踏み出す年にできればと思っておりますので、皆様のご協力、ご指導を宜しくお願い致します。

## 山形県の魅力を発信する取組み



山形観光アカデミー  
理事長 山口 敦史

この度、通常総会で、理事長に就任いたしました。会員の皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。また令和5年度の当アカデミーの事業につきましても受講された方々や御支援、御協力をいただきました会員の皆様のお蔭をもちまして無事に終了することができました。

昨年度は、アフターコロナの中で旅行需要が急激に回復し、会員企業や団体の経営者、従業員の皆様は大変忙しい1年をお過ごしになられたのではないのでしょうか。その中で観光ビジネス基礎講座を始め、トップセミナーや本保芳明学長特別講演会等をご受講いただきましたこと、心より感謝申し上げます。

12月に開催しました本保学長による特別講演会では、「地域の魅力を高め、世界に選ばれるために～高付加価値化と持続可能な発展～」と題し、旅行消費拡大における富裕旅行の効果、それに伴うアッパー層（富裕旅行者）の志向や消費性向をご講演いただきました。観光庁で整備しているインバウンド観光地づくりに向けたアクションプランの概要を説明いただき方向性の共通認識もできたところです。山形県には豊富な「ウリ」（資源）があるにも関わらず、まだまだ発信力が足りない、富裕旅行への対応ができていない。これからどう発信していくか官民一帯となって取り組んでいく必要があります。今後も情報共有しながら山形県の魅力発信へ務めていきます。

さて、アフターコロナ2年目に入り、やっと通常の生活が戻って参りました。全ての水準が元通りとはなりません。しかしコロナ禍でのリモートワークが浸透し、旅行をしながら仕事ができる柔軟さを得たことも事実です。世界が変わるように我々も日々変化しなければなりません。円安が続く昨今、インバウンドの集客がますます見込まれ、観光業にとって好影響が期待できる反面、人手不足への対応も大きな課題となっております。

県が掲げております「第2次おもてなし山形県観光計画」も最終年度となりました。近年の急速なICT化の進展やバリアフリー化、観光地へのラストワンマイルをつなぐ二次交通の充実などまだまだ課題はありますが、すぐできる取組は人材育成にさらに力を注ぐことでしょう。

当アカデミーとしましても、これまで以上に人材育成強化に努めるべく、ネット社会の中で差別化を図れるような県内の観光情報の享受やおもてなしの心を育てるビジネスマナーやコミュニケーション方法、インバウンド対応等、効果的かつ実践的な講座を展開して参ります。

観光人材育成機関として、山形観光アカデミーを存分にご活用いただきますと同時に、事業の運営につきましても変わらぬ御協力と御支援を今後とも賜りますようお願い申し上げます。

## 将来を見据えた観光施策の推進



山形県観光文化スポーツ部  
部長 大泉 定幸

本県の観光振興施策の推進につきましては、日ごろ格別の御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。  
本県では、令和2年3月に、観光振興施策を展開していくための指針として策定した「第2次おもてなし山形県観光計画～beyond2020～」を基に、観光振興施策を展開しているところです。今年度は、この観光計画の最終年度となりますので、計画の検証を行うとともに、本県観光の持続的発展に向け市町村や観光事業者等から御意見をいただきながら新たな観光計画を策定してまいります。

さて、新型コロナの5類移行から1年が経過し、更なる交流人口の拡大に向けて、デジタルも活用しながら本県の魅力をこれまで以上に国内外に強力に発信して誘客を図るとともに、インバウンドのみならずアウトバウンドも積極的に推し進めることで、相互交流も促進していかなければならないと考えております。そのため県では、デジタル技術を活用したマーケティングによる周遊観光の促進や東北各県と連携したプロモーションなどの誘客施策の展開のほか、県民のパスポート新規取得への支援や県外国際空港とのバス運行支援などによる交流拡大に向けた取組みを強化してまいります。

また、4月から6月まで、JR東日本と連携して「心ほどけるやまがた」をキャッチコピーとして山形県春の観光キャンペーンを展開しており、本県が世界に誇る多様な観光資源を大勢の方にPRし、実際に足を運び、体感していただく取組みを進めております。

この他、令和7年のさくらんぼ栽培150周年に向けて、「やまがた紅王」をはじめとする「さくらんぼ県やまがた」のブランド力を活用し、県内観光地への誘客促進を進めてまいります。

将来を見据えた観光施策の推進にあたっては、観光に携わる私たち一人ひとりがおもてなしの心を持ち、本県が誇る「美食」「美酒」や山形ならではの文化、ストーリーをお客様に伝えていくためには、人材の育成が大変重要になります。そのため、貴アカデミーによる人材の育成の取組みを通して、「観光交流拡大」の実現に大きく寄与することを心より期待しております。

結びに、観光産業を中心とした地域経済がさらに発展するよう努めてまいりますので、皆様からも格別の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 令和5年度観光ビジネス基礎講座修了式・学長特別講演会の開催

日時：令和5年12月7日(木) 午後1時～ 会場：ホテルメトロポリタン山形「出羽」

令和5年度ビジネス基礎講座修了証書授与ならびに皆勤賞授与式を執り行いました。  
続いて、学長特別講演会を開催しました。

### 修了式

修了生代表として、株式会社ヤマコー 須藤 優吾さんに修了証書授与、株式会社旅館古窯 渡邊 直樹さんに皆勤賞授与いたしました。

須藤 優吾さんには、代表スピーチしていただきました。「自分の言葉で山形の良さを伝えられる人材になる」須藤さんの言葉に胸が打たれました。



### 学長特別講演会

本保芳明学長による特別講演会を開催しました。

#### 演題：「地域の魅力を高め、世界に選ばれるために～高付加価値化と持続可能な発展～」

初代観光庁長官であり国連世界観光機関駐日事務所代表でもある本保学長より、旅行消費拡大における富裕旅行の効果、それに対する対策をご講演いただきました。旅行者が世界的に戻ってきていることを踏まえ、さらに日本が、山形が旅行消費額を拡大するには、圧倒的に財を持っている富裕層をどう満足させるかがキーとなるとのこと。観光庁が掲げるアクションプランでも「ウリ」「ヤド」「ヒト」「コネ」の重要性を強調しています。山形は「ウリ」が多くあふれています。しかしPR力が足りないと本保学長。今後、山形にしかないウリをどうPRしていくかが問われます。



## 令和5年度トップセミナー

令和5年8月3日(木)、国土交通省 大臣官房政策立案総括審議官 池光 崇 氏を講師としてお招きし、日本の宿 古窯にて、トップセミナーを開催しました。

池光氏は前大臣官房審議官（観光庁担当）であり、観光について深い知識をお持ちです。山形県の観光誘致についての対策や国の施策を熱くご講演いただきました。

日 時：令和5年8月3日(木) 午後3時から午後5時まで  
 会 場：日本の宿 古窯「花笠座」  
 講 師：国土交通省 大臣官房政策立案総括審議官 池光 崇 氏  
 参加者数：74名



## 令和5年度山形おもてなしドライバー検定に係る実践研修会事業

多様化する旅行者のニーズへの対応や国内外からの観光需要の拡大を見据えた受入環境の整備のため、また、きめ細やかな観光案内で積極的に本県の魅力を発信できるタクシードライバーの養成を目的とし、実践研修会事業を当アカデミーが、山形おもてなしドライバー検定協議会より受託し、7月・9月に村山・庄内各会場にて実施いたしました。

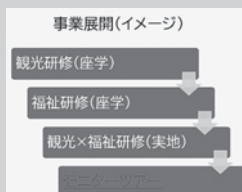
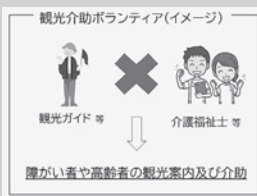


### 研修内容

- 1) 「山形県の観光交流施策について」  
 講 師：山形県観光文化スポーツ部 観光復活推進課  
 観光振興専門員 桜井 浩美 氏
- 2) 「コミュニケーション研修」  
 講 師：有限会社Office Tryfull 奥山 知寿子 氏
- 3) 「インバウンド対応研修」  
 講 師：全国通訳案内士 菅原 明香 氏  
 村山会場：山形県国際交流員 シアン・ライト 氏  
 同 上 ジェシカ・スピード 氏  
 庄内会場：山形県国際交流員 ジェシカ・スピード 氏  
 東北公益文科大学特任助教  
 バンティング・ティモシー 氏  
 ルクマン・バーバニ 氏

## 令和5年度山形県観光介助ボランティア事業〈共催〉

障がい者や高齢者の方々が自由に県内各地を観光し、非日常を楽しんでもらうため、障がい者や高齢者をサポートする体制の構築を目的とし、3回の研修会並びにモニターツアーを南陽市にて実施いたしました。



### 研修内容

- 1) 観光研修会
  - ・山形県の観光知識について
  - ・南陽市の観光知識と案内方法について
- 2) 福祉研修会
  - ・心のバリアフリーとユニバーサルツーリズムについて
  - ・車いすの操作あと介助方法について
- 3) 実地研修会
  - ・熊野大社での観光案内や車いすの介助方法について
- 4) モニターツアー
  - ・烏帽子山公園、ラーメン店、夕鶴の里資料館等

## 山形観光アカデミー 令和5年度開講講座

日程	時間	会場	観光ビジネス基礎講座（山形/庄内 各6回）	他事業
【山形】 6/27(火) 【庄内】 6/28(水)	13:30 ～ 16:30	【山形】 山形テルサ 研修室A 【庄内】 東京第一ホテル鶴岡	【テーマ】 ビジネスマナー講座① 【講師】 officeライフキャリアコミュニケーション 代表 藤原 みよ 氏	
【山形】 7/25(火) 【庄内】 7/26(水)	13:30 ～ 16:30	【山形】 遊学館 第1研修室 【庄内】 東京第一ホテル鶴岡	【テーマ】 インバウンド英語講座① 【講師】 全国通訳案内士 菅原 明香 氏 【ゲスト】 県国際交流員：ジェシカ・スピード 氏 同上：シアン・ライト 氏	7/19(水) 村山会場 【おもてなしドライバー検定実践研修】 7/24(月) 庄内会場 【おもてなしドライバー検定実践研修】
8/23(水)	13:30 ～ 16:30	オンライン開催	【テーマ】 コミュニケーションスキルアップ講座 【講師】 フリーアナウンサー 奥山 知寿子 氏 【テーマ】 インバウンド英語講座② 【講師】 全国通訳案内士 菅原 明香 氏 【ゲスト】 北庄内地域通訳案内士： ビエール・ガンバリーニ 氏	8/3(木) 【トップセミナー】 国土交通省 大臣官房政策立案総括審議官 池光 崇 氏
【山形】 9/26(火) 【庄内】 9/27(水)	13:30 ～ 16:30	【山形】 遊学館 第1研修室 【庄内】 東京第一ホテル鶴岡	【テーマ】 ビジネスマナー講座② 【講師】 officeライフキャリアコミュニケーション 代表 藤原 みよ 氏	9/13(水) 【山形県観光介助ボランティア観光研修会】(共催) 9/20(水) 村山会場 【おもてなしドライバー検定実践研修】 9/28(木) 庄内会場 【おもてなしドライバー検定実践研修】
【山形】 10/17(火) 【庄内】 10/18(水)	13:30 ～ 16:30	【山形】 遊学館 第1研修室 【庄内】 東京第一ホテル鶴岡	【テーマ】 ユニバーサルマナー（バリアフリー観光）について 【講師】 (一社)山形バリアフリー観光ツアーセンター 代表理事 加藤 健一 氏 【テーマ】 山形県の観光交流施策 【講師】 山形県観光復活推進課 観光振興専門員 桜井 浩美 氏	10/31(火) 【山形県観光介助ボランティア福祉研修会】(共催)
【山形】 11/7(火) 【庄内】 11/6(月)	13:30 ～ 16:30	【山形】 山形テルサ 研修室A 【庄内】 東京第一ホテル鶴岡	【テーマ】 山形のブランド力向上と観光地域づくり 【講師】 リードクライム(株)・東北芸術工科大学 准教授 西 直人 氏	11/28(火) 【山形県観光介助ボランティア 実地研修会】(共催)
				12/7(木) 【令和5年度観光ビジネス基礎講座 修了式、学長特別講演会】
				2/22(木) 【山形県観光介助ボランティアモ ニターツアー】(共催)

### 令和5年度講座まとめ

		回数(回)	受講者数(人)	修了者数(人)	皆勤者数(人)
観光ビジネス基礎講座	山形会場	6	37	33	22
	庄内会場	6	9	8	3
修了式・学長特別講演会		1	83		
トップセミナー		1	74		
山形おもてなしドライバー検定実践研修	山形会場	2	15		
	庄内会場	2	17		
山形県観光介助ボランティア観光研修会		1	15		
山形県観光介助ボランティア福祉研修会		1	20		
山形県観光介助ボランティア実地研修会		1	15		
山形県観光介助ボランティアモニターツアー		1	15		
合計		22	300	41	25

## 山形観光アカデミー 令和5年度基礎講座報告

### ● 観光ビジネス基礎講座 受講の様子

#### 第1回 ビジネスマナー講座①

テーマである「学びの実践化」を行う講座。あいさつ、お辞儀の角度、手の位置と藤原先生の厳しくも優しい指導のもと、受講生のきびきびとした気持ちの良いあいさつが飛び交いました。「お客様と組織を結ぶ信頼の架け橋」である社員やキャストである私たち。架け橋の柱に近づきました。



#### 第2回 インバウンド英語講座①

ほとんどの旅行者は英語が第二言語。要するに簡単な英語で伝われば問題ないわけです。ゲストの外国人も訛りや言い間違いなんて気にしません。そうしてもらえて気が楽になったのは受講生だけではないはず。菅原先生の言う「心の壁を壊して」一歩進めた受講生はたくましく見えました。



#### 第3回 【オンライン】コミュニケーションスキルアップ講座／インバウンド英語講座②

「コミュニケーションの主役はあなたではない」心に響きましたね。何を話そうかではなく何を話してもらおうか、人は話したい生き物なんだと。ほっとした受講生が何名いたでしょう。受講生の不安や悩みを解消してくれた時間となりました。また、2連続のインバウンド英語講座。オンラインで聞き取りづらかったと思いますが積極的にグループワークや発言をしてくれました。



#### 第4回 ビジネスマナー講座②

「相互尊重」がキーワード。自分も相手も大切に自己表現を学びました。所属先のイメージを高める「電話対応マナー」を伝授いただき、実際に自分の声を受話器から聞く。とても勇気のあることですが、受講生は真剣に真摯に取り組んでいました。一気に社会人としての気品と風格が出てきました。



#### 第5回 ユニバーサルマナー(バリアフリー観光)／山形県の観光交流施策

車いすユーザーである加藤先生の実体験を交えた講座。障がい者の悩みや望みは、私たちの心のバリアフリーで軽減したり、達成したりします。受講生の胸にしっかりと響いたようでした。また、山形県の観光について、県が考える最新の情報をお聞きし日本遺産という言葉初めて聞いたという受講生も。どんどん山形県の魅力を吸収してほしいです。



#### 第6回 山形県のブランド力向上と観光地域づくり

「ブランド」「コンセプト」「ブランディング」の違いを確認し、自分自身が会社の顔であるということ、会社のブランドを作る一端であることを西先生にご教示いただきました。受講生は身の引き締まる思いがしたと同時に努力する決意を新たにしました。



## R5 修了生の感想



### 観光ビジネス基礎講座を終えて

株式会社ヤマコー 須藤 優吾さん

はじめに、全6回の講座を企画・運営して下さった山形観光アカデミーの皆様、各回で講師を務めて下さった先生方へ御礼申し上げます。半年間にわたる講座の中で、特に印象深かったのは「山形ブランド」についての講座です。「ブランドとはお客様が企業やモノに対して抱く印象であり、現場で働く私自身がブランドイメージを構成する一員である」。この話をお聞きしたときは、ちょうど仕事に慣れ始めた時期でもあり、

私の普段の業務に向かう姿勢が会社のブランドを背負っているのだと、より一層身の引き締まる気持ちになりました。私の勤務するスポーツクラブには、何十年も通い続けてくださっている利用者様がいらっしゃいます。これは私の上司や先輩社員の方々が「安心して楽しく利用できる施設」というブランドを守り続けてきたからだと思います。引き続き長く愛されるスポーツクラブであるように、利用者様にとって安全で新鮮味が感じられる運動指導を行っていきます。

今回のビジネス基礎講座を終えて、私には目標ができました。それは、自分の言葉で山形の良さを伝えられる人材になることです。講座の中で、講師の先生方や受講生の皆様から山形県の多くの観光資源を紹介していただきました。豊かな自然や食文化はどれも魅力的に感じられました。それは皆様がよく知る生まれ育った土地や、普段働いている職場のことを語ってくださったからだと思います。まだ行ったことのない県内の観光地に足を運び、実際に体験して知見を深めることで、県内外の皆様にも「私も行ってみたい」と思わせるプレゼンテーション力を高めていきます。

最後に、多くの学びと働き方を見つめなおすきっかけをくださった皆様に、改めて感謝申し上げます。新しい目標を胸に業務に励み、今後の社会人生活を充実させていきたいと思っています。そして、山形県の観光を支える皆様とともに、魅力ある山形ブランドを築いていきます。



### 観光ビジネス基礎講座を受講して

株式会社旅館古窯 渡邊 直樹さん

はじめに、観光ビジネス基礎講座を受講する機会をいただき誠にありがとうございました。

今回の全6回の講座を通してとても多くの知識を得ることが出来ました。その中で特に印象に残った講座が3つあります。

1つ目は、ビジネスマナー講座です。私がこの講座で学んだ事は「自分自身の行動1つで、お客様から会社への信頼が無くなってしまう」という事です。すべての質を上げるのは難しいですが、下げるのは簡単だという事を改めて学びました。この事は、普段から沢山のお客様と関わっていく上でとても大切な事だと思います。私自身も、より接客の質を向上させる為に言葉のレパートリーを増やし、お客様一人一人に合わせた接客を出来るよう日々の業務をより丁寧に行っていきたいと思いました。

2つ目は、バリアフリー観光の講座です。この講座では、空飛ぶ車椅子社長こと加藤健一さんから直々に何かしら不自由を持っている方に対する接し方を学ばせて頂きました。過剰な接客は逆に不快感を与えてしまうので、さりげない配慮が必要だという事を知りました。“ハンデのあるお客様は何をしてあげたら喜んで貰えるだろうか、快適に過ごせるだろうか”という疑問が自分の中の課題の一つでした。加藤さんが仰っていたのは押し付けではなく、選択肢を与える事。この考え方はどんなお客様にとっても当てはまることで、より多くの選択肢を与えられるように、多様な思考力を持つことの重要性を改めて理解する事が出来ました。

3つ目は、山形のブランドについての講座です。ブランドとは、その地名がまとうイメージ・雰囲気・信頼であると分かりました。実際に自分たちで山形のブランディングをしてみてもブランドという言葉は馴染みのあるものですが、深く何なのか理解してなかったので詳しく知る事が出来て良かったです。私たち一人一人が山形のブランドを背負っているという事を今後自覚して、山形県に、そして上山市に貢献していけるように頑張りたいと思いました。

全講座を受講出来たことにより、自分自身の成長に大きく繋がりました。山形が日本に限らず、より多くのお客様に楽しまれ、愛される地域になれるように、そしてその地域を盛り上げていく一員になれるように、今回の学びを活かして仕事に励んでいきたいと思っています。

### 観光ビジネス基礎講座を受講して

最上峽芭蕉ライン観光株式会社 甲州 幸代さん

はじめに、山形観光アカデミーの事務局の皆様、講師の先生方、この度は大変貴重な経験をさせていただきありがとうございました。

観光ビジネス基礎講座を受講してみて、たくさん学びがありました。

接客とは、優しく温かく、思いやりのある態度や行動をとることが重要であり、お客様を大切に、要望やニーズを理解しようとする姿勢が大切だということや、状況に合わせてどう柔軟に対応するか、笑顔や挨拶、丁寧な言葉使いなども、改めて、学ばせていただきました。電話対応や基本的なマナーを一から学びなおし、今まで自分がしてきた接客とは、かなりかけ離れていると感じることがありました。お客様に自信をもって接客していたか、お客様に分かりやすい対応で、きちんと満足いただける接客をしていたか、考えるだけでたくさん不安があります。

今回、観光ビジネスの基礎知識や素晴らしい先生方のお話をたくさん聞きことができ、今まで知らなかった知識を身につけることができました。将来、観光業界で働くことを考えている方にはとても役立つ素晴らしい講座であり、山形県の観光に携わる1人として新たな発見ができたことを光栄に思います。

講師の方々の経験や知識を活かした具体的な事例やアドバイスの多かったので、非常に理解しやすかったです。今後も観光業界のトレンドや最新情報を追いかけて、観光ビジネスの発展に微力ながら、貢献できればと思っております。この度は、このような機会をいただきまして、本当にありがとうございました。



## 令和5年度 観光ビジネス基礎講座を受講して

株式会社庄交コーポレーション 庄交トラベル事業部 阿部 聖華さん

はじめに、観光ビジネス基礎講座を受講させていただき、大変貴重な経験ができましたこと、お忙しい中実施していただきました山形観光アカデミーの皆様、各講師の方々に感謝申し上げます。

今回の講座を通し、お客様との向き合い方について改めて考えさせられました。先入観に捉われずまっすぐに向き合い接客することで、お客様に寄り添って考えることができ、講座内容が日々の仕事に活かしていると実感します。各講師の講座を受け、私は特に2つのことに注意して行動しています。

1つ目は、100点満点を目指さないことです。「バリアフリー観光について」講師の加藤健一氏は、100点満点ではないからと諦めるのではなく、小さなことでもできることから行動に移してほしい、と仰っていました。私自身、まだ完璧に対応できるわけではないから、と自分から声をかけることを躊躇うことが多くありました。加藤講師の講座を受講し、お困りの方には積極的に声をかけ、小さなことでも私にできることから行動に移していこうと思ひ直しました。

2つ目は、考え続けることです。マナーは時代や国によって変わるため、どんな行動が最適なのかを常に考えることが大切、と「ビジネスマナー講座」講師の藤原みよ氏が仰っていました。また、「インバウンド英語講座」講師の菅原明香氏は、一人ひとり考え方や宗教観も違うため、生まれた地域で一括りにするのではなく目の前にいるお客さまに真摯に向き合うことが大切、と仰っていました。お客さまに気持ちよくご利用いただけるよう、目の前のお客さまについてよく考え、それぞれに合わせた最適の接客を追求していこうと思ひます。

講座内容だけでなく所作や話し方など、各講座の先生方からたくさんのお話を学ばせていただきました。今回学んだことを日々の仕事に活かし、県内外のたくさんの方に山形の魅力を伝えられるよう努力していきます。

この度は、このような機会をいただきまして、誠にありがとうございました。

## 令和5年度観光ビジネス基礎講座 修了生（順不同）

### ☆ 皆勤賞

#### 株式会社旅館古窯

渡邊 直樹☆

千葉 乃愛☆

#### 株式会社葉山館

櫻井 孝江☆

#### 株式会社上山温泉ホテルあづま屋

ライ・マイヤ・クマリ☆

島津 未来☆

#### 株式会社滝の湯ホテル

齋藤 飛雅

阿部 崇希☆

#### 仙台ターミナルビル株式会社 (ホテルメトロポリタン山形)

奥山 侑晃

#### 株式会社カキザキ(山形国際ホテル)

生亀 寛和☆

齋藤 莉子☆

#### 株式会社ヤマコー

五十嵐 愛結☆

後藤 健太☆

須藤 優吾☆

山口 蓮☆

#### 山交バス株式会社

井上 稜也☆

#### 株式会社リナワールド

岡崎 光咲☆

#### 株式会社村山市余暇開発公社

高橋 美穂

宇野 飛向

#### 飯豊めざみの里株式会社

澁谷 和紀

#### 蔵王ロープウェイ株式会社

大場 麻未☆

佐竹 直希☆

#### 株式会社JTB山形支店

池田 亜由実

#### 米沢商工会議所

小野 博毅☆

#### 株式会社上杉コーポレーション

高橋 明日香☆

#### 株式会社チェリーランドさがえ

今野 奈緒美

森 陽子

今井 絵理香

#### 株式会社朝日自然観

菅井 英彦☆

#### 株式会社こころの宿一龍

黒坂 武流

#### 株式会社アクセスよねざわ(道の駅米沢)

増木 英莉☆

山室 茉由☆

#### 一般社団法人天童市観光物産協会

三浦 泉

#### 公益社団法人山形県観光物産協会

奥山 エリカ☆

#### 株式会社庄交コーポレーション

佐藤 美喜

佐藤 綾花

阿部 聖華

#### 株式会社萬国屋

門脇 柗菜

船山 鈴奈

#### 最上峽芭蕉ライン観光株式会社

甲州 幸代☆

#### 株式会社白糸の滝(白糸の滝ドライブイン)

富樫 美聡☆

佐藤 ふゆね☆

## 令和6年度 開講講座（予定）

山形観光アカデミーは、山形県内の観光関係者のための人材育成機関です。  
 会員以外の観光に関心のある方の受講も歓迎します。

- ◆会員の受講は、講座数および受講者数の制限はありません。
- ◆会員以外の方（個人）の受講料は一回につき3,000円となります。
- ◆都合により開催日時・会場などが変更になる場合がありますので、予めご了承ください。

月	開催方法	時間	観光ビジネス基礎講座（山形／庄内 各6回）	他講座
6	会場 ①山形 ②庄内	①13:30~16:30 ②13:00~16:00	【テーマ】 ビジネスマナー講座① 【講師】 officeライフキャリアコミュニケーション 代表 藤原 みよ 氏	
7	会場 ①山形 ②庄内	①13:30~15:00 ②13:00~14:30	【テーマ】 バリアフリー観光について 【講師】 (一社) 山形バリアフリー観光ツアーセンター 代表理事 加藤 健一 氏	
		①15:00~16:30 ②14:30~16:00	【テーマ】 インバウンド英語講座① 【講師】 全国通訳案内士 菅原 明香 氏	
8	オンライン	13:30~15:00	【テーマ】 山形県の観光交流施策 【講師】 山形県観光交流拡大課	トップセミナー（予定）
		15:00~16:30	【テーマ】 コミュニケーションスキルアップ講座 【講師】 フリーアナウンサー 奥山 知寿子 氏	
9	会場 ①山形 ②庄内	①13:30~16:30 ②13:00~16:00	【テーマ】 ビジネスマナー講座② 【講師】 officeライフキャリアコミュニケーション 代表 藤原 みよ 氏	おもてなしドライバー検定実践研修（予定）
10	会場 ①山形 ②庄内	①13:30~15:00 ②13:00~14:30	【テーマ】 インバウンド英語講座② 【講師】 全国通訳案内士 菅原 明香 氏（調整中）	
		①15:00~16:30 ②14:30~16:00	（調整中）	
11	会場 ①山形 ②庄内	①13:30~16:30 ②13:00~16:00	【テーマ】 山形のブランド力向上と観光地域づくり 【講師】 リードクライム(株)・東北芸術工科大学 准教授 西 直人 氏（調整中）	本保学長による特別講演会令和6年度ビジネス基礎講座修了式（予定）
12				
1				観光人材育成連携「観光介護ボランティア」研修（予定）
2				

## 山形観光アカデミー 入会のご案内

「山形観光アカデミー」は、全国初の自主的な観光人材育成機関です。

平成2（1990）年に設立し、宿泊施設、交通・運輸、ドライブイン、物品製造・販売、飲食店、観光団体等、多彩な業種で構成されています。

講演や講座の開催を通し、山形県の観光事業を支える方々の資質や能力の向上、マネジメント能力や接客能力の向上など、観光に携わる人材の育成に努めており、山形県の職業訓練認定校の指定も受けています。

### ＜活動＞

#### 観光ビジネス基礎講座

山形と庄内でそれぞれ全6回開催し、接客の基本や効果的な仕事の進め方、電話応対に加え、海外からの観光客への対応、観光業界に求められている実践的な内容をカリキュラムに組み込んでいます。新人の方から中堅・育成担当社員の方まで幅広く受講いただけます。

#### トップセミナー

各業界の有識者や経営者を講師に迎え、経営や観光をテーマとした当トップセミナーは経営者や管理者の方々から大好評をいただいております。会員以外のご聴講も可能です。

#### 観光中堅人材育成研修

今後の本県の観光事業を支える人材育成のため、観光分野の最前線で活躍する講師陣のセミナーやワークショップなど、知見を深め多様なネットワーク構築を図る機会を提供します。

#### 観光人材育成

県内の協議会や団体等と連携を図り、魅力的な観光地域づくりに必要な考え方や知識を提供します。

### ＜会費＞

会員年会費 *実施する全ての講演や講座を、従業員の方に限り 原則何名でも受講可能	資本金1千万円・社員20人未満のいずれかに該当する企業	30,000円
	上記中堅企業の基準を超える企業	80,000円
非会員受講料（講演や講座、1回につき） *6回コースの講座でも、そのうちの1回のみ受講可能		（1名につき） 3,000円

## 山形観光アカデミー 組織

### 顧問

（令和6年4月22日現在 敬称略／理事五十音順）

顧問	船山龍二
顧問	内藤文徳

### 学長

学長	本保芳明	国連世界観光機関駐日事務所	代表	表
----	------	---------------	----	---

### 役員

理事長	山口敦史	株式会社滝の湯ホテル	代表取締役社長
副理事長	平井康博	株式会社ヤマコー	代表取締役社長
〃	長坂紳一	株式会社庄交コーポレーション	代表取締役副社長
〃	本間安信	株式会社チェリーランドさがえ	代表取締役社長
専務理事 （兼事務局長）	安孫子義浩	公益社団法人山形県観光物産協会	専務理事
理事	五十嵐朋子	株式会社葉山館	常務取締役社長
〃	遠藤勲	株式会社上杉コーポレーション	代表取締役社長
〃	大木剛裕	蔵王ロープウェイ株式会社	代表取締役社長
〃	岡崎純子	タカミヤホテルグループホールディングス 深山荘 高見屋	常務取締役/女将
〃	加藤慎一	株式会社旅館古窯	支配人
〃	今田聡	株式会社ヤマコー	取締役経営企画室長
〃	堺美奈子	株式会社月岡ホテル	代表取締役
〃	佐藤勇	公益社団法人山形県観光物産協会	常務理事
〃	佐藤真二	山形県観光文化スポーツ部	観光交流拡大課長
〃	佐藤太一	株式会社万国屋	代表取締役社長
〃	鈴木富士雄	最上峡芭蕉ライン観光株式会社	代表取締役社長
〃	寺崎拓路	山交観光株式会社	代表取締役社長
〃	舟山川隆志	株式会社エイコウよねおりかんこうセンター	代表取締役社長
〃	仙台武志	仙台ターミナルビル株式会社ホテルメトロポリタン山形	執行役員総支配人
監事	須藤信晴	有限会社有馬館	代表取締役社長
〃	伊藤林也	一般社団法人山形市観光協会	事務局長

### 事務局

事務局	福田直子	公益社団法人山形県観光物産協会	観光物産プロデューサー
事務局	尾崎有香	公益社団法人山形県観光物産協会	観光事業課

### ＜問合せ・入会申込み＞

山形観光アカデミー事務局

〒990-8580 山形市城南町1-1-1 霞城セントラル1F（公益社団法人山形県観光物産協会内）

TEL：023-647-2333 FAX：023-646-6333

Eメール：academy@yamagatakanko.com

# 山形観光アカデミー会員

令和6年4月22日現在  
(順不同)

企業・団体名 (所在地)

## 宿泊

日本の宿 古窯	(かみのやま温泉)
葉山館	(かみのやま温泉)
果実の山 あづま屋	(かみのやま温泉)
展望露天の湯 有馬館	(かみのやま温泉)
仙溪園 月岡ホテル	(かみのやま温泉)
蔵王ライザワールド(株)	(上山市)
深山荘 高見屋	(蔵王温泉)
ホテルメトロポリタン山形	(山形市)
山形グランドホテル	(山形市)
山形国際ホテル	(山形市)
山形県市町村職員共済組合	(山形市)
栄屋ホテル	(天童市)
ほほえみの宿 滝の湯	(天童市)
天童ホテル	(天童市)
こころの宿 一龍	(寒河江市)
月山観光開発(株)	(西川町)
朝日自然観	(朝日町)
(株)村山市余暇開発公社	(村山市)
KAMEYA HOTEL	(湯野浜温泉)
萬国屋	(あつみ温泉)

## 交通

蔵王ロープウェイ(株)	(山形市)
蔵王観光開発(株)	(山形市)
(株)ヤマコー	(山形市)
山交バス(株)	(山形市)
山交ハイヤー(株)	(山形市)
最上峡芭蕉ライン観光(株)	(戸沢村)
(株)庄交コーポレーション	(鶴岡市)

## ドライブイン

上杉城史苑	(米沢市)
道の駅米沢	(米沢市)
よねおりかんこうセンター	(高畠町)
めざみの里観光物産館	(飯豊町)
チェリーランドさがえ	(寒河江市)
白糸の滝ドライブイン	(戸沢村)

## 料理・レストラン

上杉伯爵邸	(米沢市)
清流庭園 山菜料理 玉貴	(西川町)

## 体験・見学施設

酒造資料館 東光の酒蔵	(米沢市)
-------------	-------

## 旅行

山交観光(株)	(山形市)
(株)JTB山形支店	(山形市)

## その他

山形おきたま観光協議会	(米沢市)
米沢商工会議所	(米沢市)
(一社)高畠町観光協会	(高畠町)
蔵王ゴルフ(株)	(山形市)
(株)大風印刷	(山形市)
(公社)山形県観光物産協会	(山形市)
(一社)山形市観光協会	(山形市)
蔵王温泉観光協会	(山形市)
富士フィルムBI山形(株)	(山形市)
やまがた広域観光協議会	(山形市)
天童市観光物産協会	(天童市)
山形空港ビル(株)	(東根市)
月山朝日観光協会	(西川町)
最上地域観光協議会	(新庄市)
庄内観光コンベンション協会	(三川町)

合	計	53
---	---	----